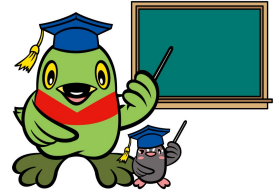


『三郷学』



1. 「三郷学」とは？

三郷の資源（人・自然・地勢・産業・交通・歴史・教育・文化など）
を学び

三郷を取り巻く社会環境の変化を見据え

三郷の歩むべき方向性を常に考え

実際に行動（実現）する学。

2. 「三郷学」の目的

“多分野”“多世代”の市民・団体・企業・市などをつなぐ交流の場を提供し、様々な資源（人・物・財源・情報など）の交流を促進して、地域力の向上を目指す。

「参加と協働のまちづくり」の手法確立に資する。

地域を主体的に担う人材（地域公共人材）を醸成する。



これらを達成する道具（ツール）としての

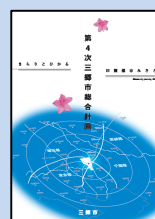
「三郷学講座」「三郷学検定」

3. 「三郷学」の位置づけ

三郷市自治基本条例第6章第2節：第41条「学習・調査研究の支援」

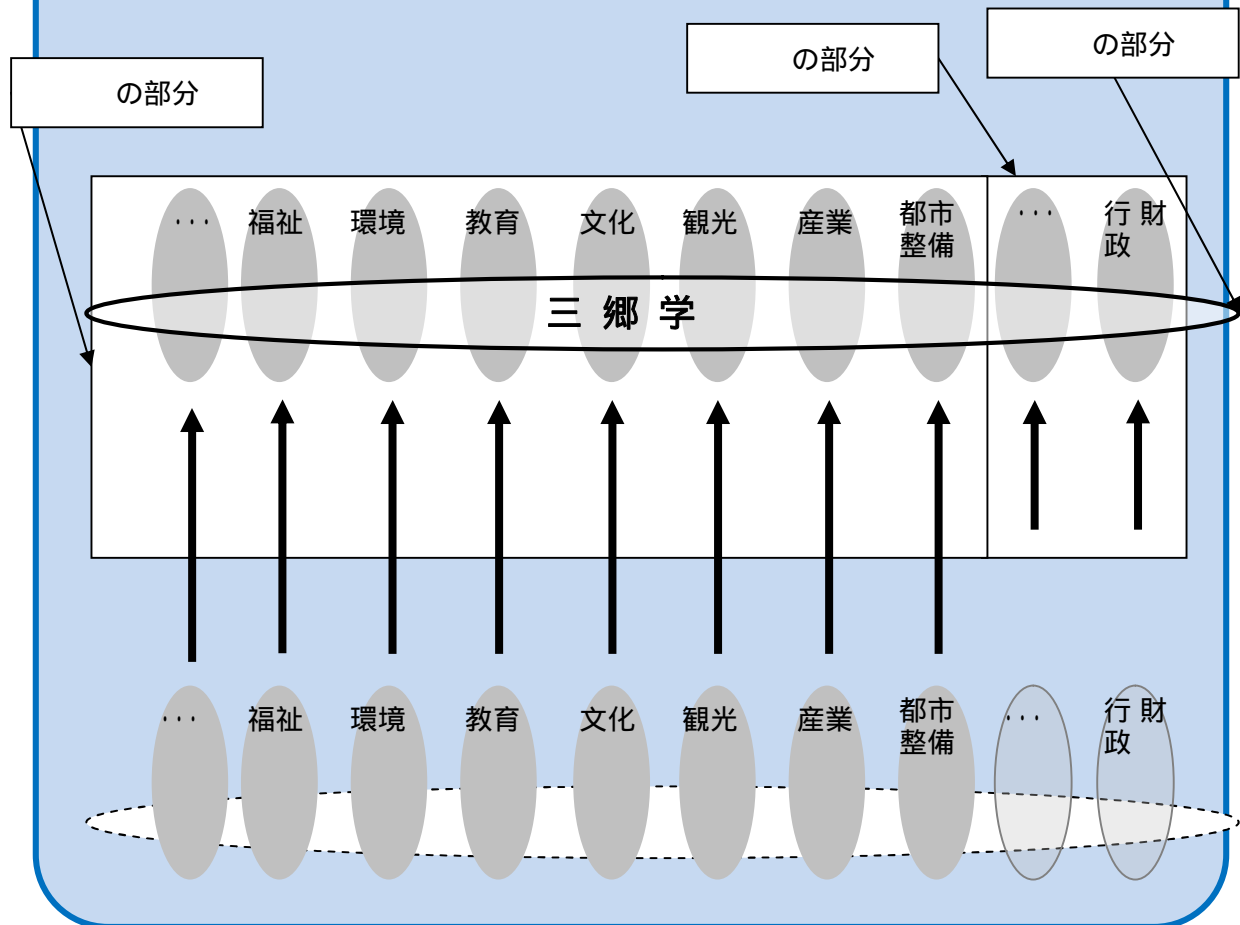
第4次三郷市総合計画：「経営方針」「リーディングプロジェクト」

これらを推進するための大きな柱となるもの



4. 「三郷学」の手法

各分野の取り組みを横につなぐ。
取り組みが不足している分野に新たに対応する。
従来からの取り組みと連携し、その取り組みをより魅力あるものとする。



5. 「三郷学講座」の目的

三郷の資源（人・自然・地勢・産業・交通・歴史・教育・文化など）を再再認識する。
三郷の現状（強み・弱みなど）を知り、地域の問題解決の糸口を“引き出し”
参加者同士の出会いや交流の場となる。